

西宮市議会議員

たかの しん

政党無所属 × 最年少・29才

- ◆ 苦楽園小・苦楽園中・関学高・関学大（法）卒業
- ◆ 元・阪急不動産（株） / 阪急阪神不動産（株）勤務

f たかの しん t takanostyle i takanostyle
https://takanoshin.jp たかのしん



◆ 上ヶ原小学校のプール使用中止問題について

プールの水が白濁し、授業が中止に。授業機会の確保と再発防止策の徹底を求めました。

■これまでの経緯

本年6月、上ヶ原小学校においてプールの水が白く濁り、使用できなくなるという事象が発生しました。発生原因は「プール槽の塗装が経年劣化し、粉が吹く状態となった」「循環ろ過器を稼働しても、粉を取り除けなかった」というものです。当該事象の発生後、プールの使用を中止して原因究明と対応策の検討が行われましたが、応急措置的な手法では改善を見込めないと判断され、今年度の使用再開は見送られました。



初めての「一般質問」を行いました！

■校外プールでの授業を実現しました。

水泳の授業時数は一般的に年間10～12時間ですが、今年度の同校では各学年4時間程度。中にはわずか2時間という学年もありました。この状況下で、学習指導要領が求める技能を習得することは極めて困難ですが、教育委員会は「プールに入っただけの学習内容が概ね終了できていることを確認できた」とし水泳授業の中止を決定しました。水泳には水難事故を防止する目的もあり、他校との公平性からもこの対応には問題が有ります。私は問題発生当初より、外部施設の借用も含めた授業機会の確保を求めてまいりました。9月議会の一般質問においてこの問題を取り上げたところ、教育委員会は私の主張を認め代替策の確保を約束。10月に民間プール等を借用して水泳の授業を実施することが決まりました。

■再発防止策の徹底を！

学校施設の老朽化は他の学校においても重大な課題となっています。今後、同様の事象を発生させないよう、再発防止策を策定するとともに市内全校へ共有するよう要望しました。引き続き、対応状況を注視してまいります。

■PROFILE / 鷹野 伸（たかの しん）

【お問い合わせ先】 mail@takanoshin.jp / 070-1524-7109

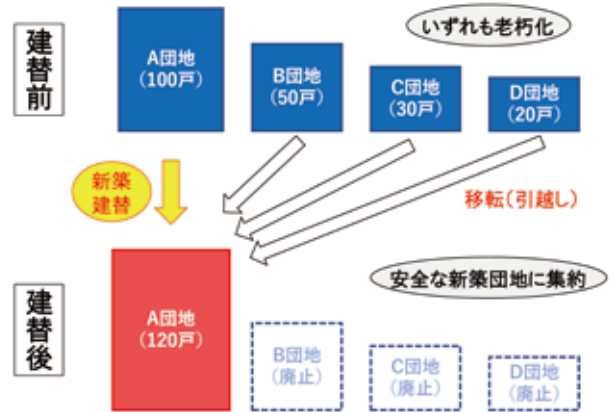
1990（平成2）年3月生まれ。西宮市立苦楽園小学校・苦楽園中学校・関西学院高等部・関西学院大学法学部卒業。大学在学中、「甲東ニューヴェルヴァーグ・ウインドオーケストラ」を設立（初代代表）、進学塾「関学ゼミナール」講師を務める。2012年、阪急不動産株式会社（現：阪急阪神不動産株式会社）に入社。新築分譲マンション部門にて約6年半勤務。2019年4月の西宮市議会議員選挙にて初当選、現在1期目。行政書士試験合格者、宅地建物取引士。

◆市営住宅の今後を考える。

老朽化が進む市営住宅。建替計画をスムーズに進めるとともに、新たな施策の導入を！

■市営住宅の現状

西宮市は2011年時点で9609戸の市営住宅を管理しています。世帯数に対する戸数の比率は中核市平均の約2倍であり、市が保有する建物面積の約4割を占めています。老朽化等により安全性を確保できず、今後の維持管理や建替えに多額の費用が必要となることから、市は複数の団地を集約して建替え、安全性の確保と戸数縮減を同時に進めるとしています。



【市が進める建替事業のイメージ】

計200戸/入居中120戸 ⇒ 計120戸/入居中120戸
※建替前は老朽化等のため新規募集を停止

■計画がなかなか進行しません。。

こうした背景から市は「市営住宅整備・管理計画」「第1次・第2次市営住宅建替計画」を掲げましたが、目標を途中で下方修正する等、順調に進捗しているとは言い難い状況です。これらの計画について私は以下の指摘を行いました。

- 過去約10年間の縮減戸数・289戸に対し、今後の約10年間で781戸を縮減する計画となっている。
→実現は極めて困難で、具体的な方策が必要。
→現計画に加え、第3次以降の建替計画が必要。
- 移転に対する入居者の不安を軽減することが重要。
- 入居者との協議等を行う市の体制を強化すべき。
- 県営住宅と近接して整備されている団地が多い。
→県の建替計画等との連携を強化すべき。

■将来的な方向性について

住まいの確保が困難な方々に住宅を提供することは重要ですが、今後は空家の増加も予想されます。高齢の方や所得の低い方を公営住宅のみで受け入れるのではなく、スムーズに民間の賃貸住宅へ入居できる仕組みづくりが重要と考え、以下の提案を行っています。

- 保証人がいない・保証会社との契約が困難。
→「高齢者向け家賃保証制度」等の情報提供を強化。
- 市独自の家賃保証・家賃補助制度等を導入。
- 物件所有者・不動産事業者等との協力体制を構築。

◆実施費用1.6億円！ 選挙事務の適正化を。

莫大な費用と人員を要する「選挙」について、実務面の見直しを提言しました。

■選挙事務の効率化を！

私は今年初めて候補者の立場で選挙を経験し、選挙に関する事務手続を効率化できないか？という思いを抱きました。市議選の実施には1億6000万円以上の費用を要し、投開票事務への従事者は延べ2000人以上にのぼります。川西市では、選挙管理委員会の職員が過労で公用車を運転し死亡事故を引き起こすという痛ましい出来事も発生しており、選管事務局の業務負担軽減という観点からも選挙事務の見直しには意義があると考えます。

■人員配置の見直しが重要です。

選挙事務の中でも私は特に「投票所への人員配置」を見直すべきと考えています。下表の通り、選挙人名簿との照合や投票用紙の交付を行う一般事務従事者の配置は、投票所別・日別のバランスを大きく欠いています。投票者数に応じた人員配置を進め、人件費の削減を図るべきです。また、今回の一般質問では「提出原稿のデータ化」や「投票区の見直し」についても取り上げました。引き続き、次回の選挙実施に向けた提言を行ってまいります。

一般事務従事者の人員配置

※データはいずれも2019年4月の西宮市議会議員選挙

○投票日当日（投票所別）

投票所	投票者数	人員	投票者数/人員
投票所A	238	3	79.3
投票所Z	1,904	6	317.3

人員1人あたりの投票者数には約4倍の格差が！

○期日前投票（日別・8か所合計）

日程	投票者数	人員	投票者数/人員
4/15(月)	2,907	89	32.7
4/20(土)	8,571	89	96.3

投票者数は大きく異なるが、人員配置は一定！